

自治体病院が優先すべきDXとは？ 会計業務効率化 からはじめる 病院経営改善

受取請求書の6割、年間1万2,000枚の
デジタル化を実現した市立病院事例を交えて解説！

2025.8.26 TUE
14:00~14:30 オンライン開催

＼お申込みはこちら／



このような方におすすめです

- 自治体病院の経営改善、要度調達体制・BCPの強化を実現したい
- 紙帳票の紛失や伝票の誤入力などの事務処理ミスのリスクを軽減したい
- 会計DXで何の業務がどう改善されるのか？導入後のイメージを知りたい

セミナー内容

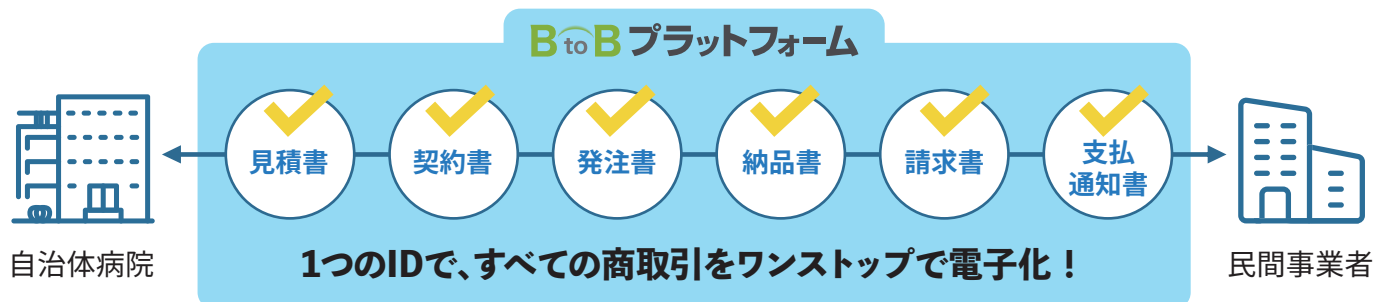
- ① 自治体病院の課題を解決する「会計事務 DX」の概要
- ② 会計 DX を実現した自治体病院事例、導入の背景と効果
- ③ デジタル化した請求書の活用方法
- ③ 財務会計システム連携のイメージと連携メリット

自治体、公営企業、民間企業問わず、
幅広い業種・規模の皆様にご利用いただいております。

BtoBプラットフォーム
利用企業数(2025年7月時点)

120万社

Ⅰ 対応範囲は商取引に必要な領域すべてをカバー



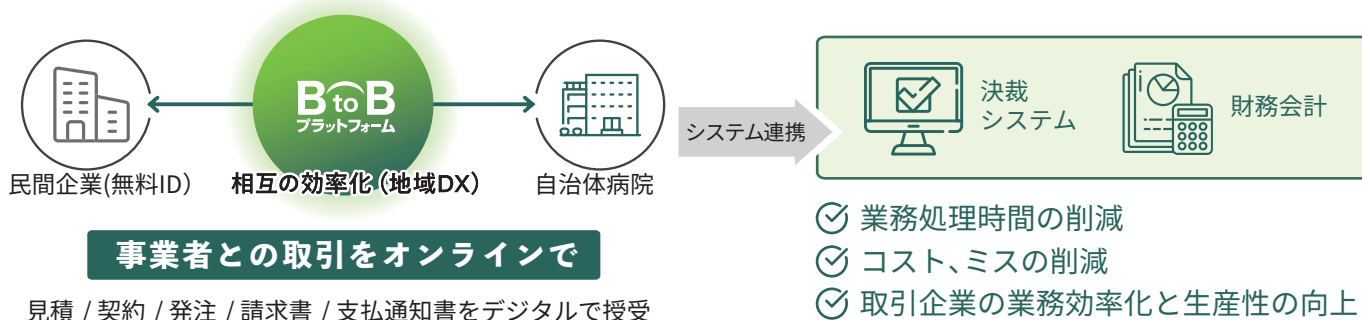
LGWANに対応

BtoBプラットフォームTRADE・契約書・請求書は、
LGWAN-ASPサービスとしてご提供が可能。



Ⅰ 自治体病院における導入イメージと効果

自治体病院が月間数百～数千件受け取る紙の請求書。
これをデジタルで受け、支出命令の半自動作成や、ペーパーレス化実現



GtoB会計事務等のDX推進 >>